

# 湯田小学校からの報告

活動団体名： 湯田小学校 4年生

活動人数： 74人（教員3名）

取組時間： 総合的な学習の時間

**調査内容** 1回目：5月29日（月） 八幡神社南側通路  2回目：5月30日（火） 湯次神社付近用水路   
3回目：5月30日（火） 飲用水源地から200m下流 

講師として杉山茂樹先生をお迎えし、各クラスで別の場所を調査し、水の透明度・川にいる生物について調査した。見つけた生物から、「この生き物はきれいな川に多いことが多い」などを確認しながら、自分の調査した川はきれいなのか汚れているのかを確認することができた。後日、川の水を採取してから理科室で顕微鏡を用いて微生物の調査を行った。子どもたちは体のつくりや動き方などにすごく興味をもちながら顕微鏡を使って調べていた。そこから、自分の学んだことをロイロノートにまとめ、学級内、また学年内で交流会をした。各クラスの行った川のようすを伝え合うことでその川にいた生物のちがいなどに気づきながら交流していた。結果から今回調査した湯田小学区のそれぞれの川は、きれいな川が多いことがわかった。児童たちは、これからもきれいな川を守っていくことの大切さや、きれいに保っていくために自分



たちにできることについて考えることができた。

## 調査員の感想

子どもたちの感想の中には「川に魚などがいることはよく知っていたが、こんなに小さい生物がたくさんいることを初めて知った。」「見たこともない形の生物がいてびっくりした。」「生物の種類からその川の水がきれいなのか汚れているのかがわかることに驚いた。」などの意見があった。

## 捕まえた生き物たち

サワガニはそれぞれの川で数多く見られた。そのほかにもカワゲラ類やトビケラ類など主にきれいな川に住む生物を見つけることができた。別の日に顕微鏡で見た時にも主にその種類の生物が多く見られた。

## 調査のまとめ

昨年度までは、クラブ活動において調査を行ってきたが、今年度は4年生全員で調査を行ったため、どのように活動するか考えることが難しかった。調査を通して、学区内にきれいな川がたくさんあることを知り、子どもたちにはこのきれいな川を守っていくために自分たちにできることを考える活動ができた。また、川の中には、今までに見たこともない水生生物がいることを知り、興味をもって顕微鏡で調査することができた。きれいな川の中にも多くの生物が住んでいることを知り、その生物の命を守っていくことも必要であると考えることができた。

さらに、次年度からの活動に向けて指導案を作成し、よりよい環境学習の時間となるように考えることができた。

# 活動の様子

【調査の様子①】



【調査の様子②】



【調査の様子③】



【顕微鏡で観察する様子】



【捕まえた生き物①】



【捕まえた生き物②】



【顕微鏡からみた水生生物①】



【顕微鏡からみた水生生物②】

